編輯室內外

〇「英雄の天下を鼓舞するや唯々民の動かざらんことを恐る、庸人の一時糊塗するや唯々民の或は動かんことを恐る。故に努めて昇平を粉飾し、虜をして眼前に陸梁せしめて、侚稱して漁商となし上下相蒙蔽す」と水戸藩の偉傑會澤翁は曰へり、寔に今日は民の動かざるべからざるの秋である。動く民か誰かを選んで英雄に仕立て自己の經綸を代行せしむることもあるが英雄の事を爲すのは民をして動かしむるにある。

〇世に傳へて曰く增稅の斷行は必然的のものであると、互額の公債發行に基く惡性インフレ防止と增加購買力封殺の有効な手段として、又當面重大化せる物價問題として特に公債への依存を可成的減少せんが爲めに增稅は何人も異議なき所であらう、唯之に應ずるには生活の簡易化に在るのみと說くものがある、寔に然りと謂はざるを得ない。

〇一億一心といふ時局克服の合言葉としてふさわしきものであるか之を形而上的時局理念に止めてはならぬ、必ずや實踐的迫力を有せしめねばならぬ、其の實踐的方法として部落會とか隣組とか常會とかあるも徒らに形式に捉らはれ實踐的効果を見るは極めて稀であると果して然るか。上意下達、下意上達を圖り政治、經濟、自治の上に責任の協同化及勤勞奉仕の實を擧げしむることが緊要である、爲政家の考慮を求めざるを得ない。

〇六十年間世界考古學界の謎とされた小樽市手宮の穴內石壁の繪が解決せられた、夫れは日本エジプト文化交換使節カイロ、アルザー大學宗敎學科長オマル、アブトーラ博士の來朝によつてである、即ち其の譯文は「我等體軀最も短く最も少數にして海の彼方より來り二大帝國及び數々の小國より成る我等は天の帝國の光榮輝く大帝の命により遣はされ、こゝに困難なる地域に拘らず、我等より體軀大にして數多く三十五の國々より集められた大軍をこの國の附近において打ち破つた、かく我等二大王國（高地及低地）の子等は次の如く決議した、即ち低地國の子等はその數また少きを以て低地地方を領し數々の戰利品は捕虜となつた丈長き英雄と共に大帝への贈物とする、また海岸地方山岳地方及び我々の初めて到著せる未知の地方は高地國の子號の領土となす」と其の研鑽の功や大なりと謂ふべきか。

〇治水の策を只に堤防と排水機の設備に俟つのみでは物足らぬ。須らく愛木の思想を涵養すべきである、五百年、三百年の老木を必要に迫らるゝがまゝに伐採しては其の補充は機械の如く堤防修築とは異なり容易に肩代りに出來ぬ。植林　造林、養林は治水策として大切であるから養林報國に邁進せねばならぬと說くものがある　寔に我意を得たものである。

〇交通線路の障碍事故を未然に防止し又は防止方法を講じたる者、交通線路の運行妨害を採知し速に之を報告し又は事故を未然に防止した者、天災地變其の他災害に際し交通線路の事故復舊に努力した者、交通線路の保護防衛に協力した者に對し愛路の功績章を授與すべく華北交通社では「愛路功勞者表彰規程」を制定實施したと善哉善哉。

〇本月二十日獨軍は赤軍の激烈な抵抗を次ぎ次ぎに排除し遂にキエフを完全に占領した事である、此次は何處を征服するか又其の影響や如何。（洮）

(停)
定價一部　五十錢
一ヶ年分　金六圓

東京市麴町區霞關一丁目內務省內
發行所　社團法人　道路改良會
電話銀座(57)〇四二七

東京市世田谷區代田壹丁目七八〇
發行者 編輯者　小島效

東京市小石川區諏訪町五六
印刷所　常磐印刷所
印刷者　奈良直一

日本出版文化協會會員番號第二二〇〇四五番